



2024年3月21日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ビ ジ ョ ン  
代 表 者 名 代表取締役会長 CEO 佐野 健一  
(コード番号：9416 東証プライム)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 中本 新一  
(TEL. 03-5287-3110)

## 剰余金の配当等の決定に関する方針の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更について決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 変更の理由

当社は、従来の配当方針のもと、配当可能性及びその実施時期について未定としておりました。しかしながら、今後も内部留保の充実を図り事業拡大のための投資を行うことを優先しつつも、資本コスト等をより一層意識した経営資源の配分を実践することにより、企業価値の向上を実現することを目的とし、配当方針を変更することといたしました。

なお、本配当方針の変更は、2024年3月28日開催予定の当社第23回定時株主総会第1号議案が承認可決を条件とします。

#### 2. 変更の内容

変更前	変更後
<p>当社グループは、財務体質の強化と事業拡大のための投資を優先し、更なる企業価値の向上を目指すことが株主に対する最大の利益還元につながると考え、過去において配当を行っていませんが、株主に対する利益還元も経営の重要課題であると認識しております。</p> <p>今後、将来の財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社グループを取り巻く事業環境を勘案して、株主に対して安定的かつ継続的な利益還元を実施する方針ですが、現時点において配当実施の可能性及びその実施時期等については未定であります。</p> <p>なお、剰余金の配当を行う場合には、年1回の期末配当を基本方針としており、配当の決議機関は株主総会であります。また、当社は中間配当を取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。</p>	<p>当社グループは、財務体質の強化と事業拡大のために必要な内部留保を確保しつつ、当社グループを取り巻く事業環境を勘案して、株主に対して安定的かつ継続的な利益還元を実施していくことを基本方針といたします。</p> <p>この方針に基づき、持続的な成長に向けた戦略投資を最優先とし、企業価値の最大化を図る一方で、資本コストを意識しながら資本効率を高め、安定的かつ持続的な配当の実施と株価形成に繋げていくことを目指し、配当性向30%～40%を目安といたします。</p> <p>なお、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。配当の決定機関は、取締役会であります。</p> <p>また、自己株式の取得・消却につきましては、資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を図るために、適切に実施してまいります。</p>

3. 変更時期

2024年12月期より適用いたします。

以上